

ごしよの華

守谷市立御所ヶ丘小学校
学校だより
第 21 号
R 2.3.19

御卒業おめでとうございます

61名の卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

今年の卒業式は、年号が令和になって初めて、校舎改修工事さなか、新型コロナウイルス感染症の流行による臨時休校など、様々な意味で思い出に強く残る卒業式になったのではないのでしょうか。卒業式には在校生の出席がなく、ちょっと寂しさを感じるのが正直なところでは。

しかし、卒業式でもお伝えしましたが、「様々なことから、学びは広がる」のです。今回のことをマイナスととらえるか、プラスととらえるか、それによって考え方は180度変わります。学ぶということは「考える」ことです。簡単に結果を求めるのではなく、考え続けること。それが成長につながっていきます。そして、夢をもって考え続けてください。

「夢を抱いて走っていけば、希望の未来が見えてくる」

皆さんの未来が希望にあふれることを、御所ヶ丘小学校全職員がお祈りしています。



ありがとう6年生。中学生になっても頑張ってください。



御所ヶ丘小学校の皆さんへ

学校生活において、1年の中で最も大切だと言われるのが「3月」です。それは、1年間を振り返り自分の成長を確認する時間であり、進学や進級に向けての準備の時間であり、様々な別れを経験できる貴重な時間でもありました。そのような時間を皆さんと一緒に過ごせなかったことは大変心残りです。しかし、いつまでも悔やんでいては、前に進むことはできません。臨時休校のために1ヶ月以上学校に行けなかったけれど、その間、学校生活では得られないことがあったのではないのでしょうか。その「得たもの」を次の学校、次の学年で発揮して欲しいです。

昨年の4月、始業式の時に「修了式の時に、一人一人が主役になれたか聞きます」と言いました。さて、令和元年度は自分が主役になれたことがあった年になったのでしょうか。皆さんの生活の様子を見てみると、誰もが主役になった瞬間があったように感じます。令和2年度は、さらにパワーアップして、主役になれることを増やしてくれることを祈っています。

それでは、1～5年生は新学期に、6年生は中学校でお会いできることを楽しみにしています。